



宇宙船

令和4年度 第1号
立川市立立川第八中学校
同 地域学校協働本部

〒190-0013 立川市富士見町 7-24-1 TEL(042)526-2007 FAX(042)529-1180 URL <https://www.tachikawa.ed.jp/jh08/>

学校だより「宇宙船」は毎月15日に発行します

新年度の始まりです

校長 千頭 和正 巳

この4月より校長として着任いたしました千頭和正巳と申します。よろしくお願いいたします。

令和4年度は4月6日に進級した2年生55名、3年生59名での始業式、4月7日に新入生67名を迎え入れる入学式からスタートしました。全校生徒181名と市内で一番小さな中学校です。しかしその分、生徒一人一人の存在がとても大きいものであると感じています。始業式で顔を上げ、落ち着いた姿勢で話を聞き、対面式では温かく1年生を迎える2・3年生の姿はとても頼もしいものでした。そして先生や先輩たちの話を聞く初々しい1年生の姿はとても明るく輝いています。

181名の八中生が、元気に明るく学校生活を送り成長していけるように教職員一同、団結して教育活動を進めていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様には、ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

入学式式辞より

<前略>

実りある中学校生活にするためにこれから2つのことを話します。

1つ目は「目標」をもつということです。「目標」の大きさは大きくても、小さくてもかまいません。でも「いつか取り組むこと」ではなく、今日から取り組めることを目標にしてください。小学生だったころ、「中学生になったらこうしよう」と考えていたことがあると思います。勉強や行事、委員会活動や係活動。学校生活だけとは限りません。家族の一員として家庭でのお手伝いなど。自分のわがままやその時の気分によって行動するのではなく、一日一日の積み重ねの上に達成できる「目標」です。

そして「目標」はぜひ達成させて「喜び」を感じてください。音楽を聴いたり、おいしいものを食べたり、ゲームをしたり。好きなことをして感じる楽しさはたくさんあると思います。もちろん、それらも大切なことです。でも自分の努力の積み重ねで何かを得たときの喜びはそれらの比ではありません。自分の努力でしか得られない「喜び」を一つでも多く体験して「自信」に結び付けてください。

2つ目は友達への「思いやりの心」をもつということです。みんなが気持ちよく学校生活を送るためには「思いやりの心」は絶対に不可欠です。そのためには、目の前にいる相手の気持ちを考えることから始めてください。相手が何を望み、どうしてほしいかがわかる人になってください。そうすれば相手が嫌がることを言ったり、したりせず、みんなが楽しい学校生活を送ることができます。しかし「心」は簡単にはわかりません。ですからきちんと会話し、お互いの意思を伝える努力をしてください。このことは、最後には必ず自分にかえってきます。日々のあいさつ、相手を気遣った言葉、行動をみんなが見ています。それが「信頼」につながります。「信頼」がある友達とともに協力して得た「喜び」は人生の大きな宝物になるものと思います。

皆さんが卒業するときにお互いに信頼しあい、全員が今以上に「思いやりあふれる人」になっていくことを期待しています。

<後略>

